

美唄

B r a n c h

地元紙 空知プレス美唄版刊行

この春「空知プレス」が以前の地元紙美唄新聞を吸収合併し美唄版発刊の運びとなった。(4月4日第2449号より) 従来より滝川、深川、砂川など中空知、北空知を網羅し刊行されていたローカル紙である。

美唄での口腔衛生事業はこの6月13日号で、「よい歯のコンクール」として報じられた。既にさほどニュース性のない行事との評価なのか小さな掲載となったが…。

来年から地元の2つの総合病院、市立美唄病院と美唄労災病院の統合が実現するニュースを一面トップでいち早く報じたのは(6月9日第2467号)、道新や市の広報紙メロディよりもはるかに迅速で、かつ、その次号には美唄労災病院の安田慶秀院長の両病院統合に関する「中間とりまとめ」の内容についてのインタビュー「公的病院市内から消滅する可能性も」が一面トップを飾るなど、目下美唄市民の最大関心事であるニュースを詳細かつ大胆に紹介したのは流石とおもわせるものであった。

小さな街に週2回の刊行は、荷が重いようにも思わない訳ではないけれども、市民への口腔衛生への関心を高める媒体の一つとして、その報道ぶ

りには、大いに期待せざるをえない。
その健闘を期待するところ大である。

(小森英世記)